

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 はるやま商事株式会社

コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 治山 正史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岡部 勝之

TEL 086-226-7101

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,857	△7.4	△1,133	—	△1,063	—	△757	—
21年3月期第2四半期	23,606	—	△1,466	—	△1,414	—	△2,054	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△46.54	—
21年3月期第2四半期	△126.29	—

(注)平成21年3月期第2四半期及び平成22年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	53,461	31,000	58.0	1,905.90
21年3月期	59,201	32,037	54.1	1,969.67

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 31,000百万円 21年3月期 32,037百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	15.50	15.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,642	△4.3	740	—	927	—	113	—	6.95

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 16,485,078株 21年3月期 16,485,078株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 219,452株 21年3月期 219,452株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 16,265,626株 21年3月期第2四半期 16,266,122株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が低調に推移するなか、設備投資の抑制や雇用・所得環境の悪化など、依然として厳しい状況が続きました。特に衣料品小売市場におきましても、デフレ基調による商品単価の下落に加えて、消費者の生活防衛意識により個人消費は節約志向が高まるなど、厳しい経営環境となりました。

このような環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、消費の低迷や前期に実施した不採算事業・不採算店舗の撤退によりグループ全体の売上高は前年同四半期を下回りましたが、構造改革の推進による徹底した販売費及び一般管理費の削減により、利益は改善されました。事業の状況につきましては、9月にレディスカジュアルブランドショップ「MILLION CARATS（ミリオンカラッツ）」をオープンし、また、同月に当社連結子会社である日本フィナンシャルサービス株式会社のクレジットカード事業を終了し、株式会社ジェーシービーに当事業を承継するなど、事業の再構築を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高218億5千7百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業損失11億3千3百万円（前年同四半期は営業損失14億6千6百万円）、経常損失10億6千3百万円（前年同四半期は経常損失14億1千4百万円）、四半期純損失7億5千7百万円（前年同四半期は四半期純損失20億5千4百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（紳士服販売事業）

主力事業であります紳士服販売事業におきましては、「いいもの、欲しいもの、つぎつぎと」をテーマに新商品の開発と販売に注力いたしました。スーツにおいては、繊維一本一本まで撥水撥油効果を持たせて汚れをはじく「クリーンアンドエコスーツ」や、ご家庭の洗濯機で洗えて環境に優しく、クリーニング代も節約できる「洗えるスーツ」、1着で4通りの着こなしが出来る「4WAYスーツ」、また、冷却パッドをスーツの両脇部分に装着した「新アイススーツ」などを開発し、フォーマルにおいては、ユニチカテキスタイル株式会社の開発した新素材を使用した涼しいサマーフォーマルウェア「-7.5℃最涼夏礼服」を開発いたしました。クールビズ関連商品としては、東洋紡スペシャルティズトレーディング株式会社の開発したスポーツ素材をビジネスシャツに取り入れた「iシャツ」や、シキボウ株式会社の開発素材「トレハクール」を使用したシャツ、裏地に接触冷感素材を使用した家庭洗濯のできる「iパンツ」を発売するなど、中・軽衣料の販売にも注力いたしました。

店舗面におきましては、9月に大丸百貨店内2店舗目で北海道地区初出店となる大丸札幌店への出店や、レディスカジュアルショップ「MILLION CARATS（ミリオンカラッツ）」を東京都内に3店舗オープンするなど、流通業界の垣根を超えた積極的な活動を行い、従来の顧客層に比べ年齢、性別にとらわれない幅広いお客様のニーズにお答えするとともに、一方で不採算店舗の閉鎖も実施しました結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗総数は365店舗となりました。

これらの結果、個人消費の低迷による客単価の下落などにより、当第2四半期連結累計期間におきましては売上高214億9千万円（前年同四半期比5.9%減）、9億3千8百万円の営業損失（前年同四半期は営業損失12億4千9百万円）となりました。

（カード事業）

紳士服販売事業における多様化した顧客ニーズに的確に対応するとともに、同事業の営業推進部門の強化・支援を主たる目的としてカード事業を展開しておりましたが、事業の採算性の観点から平成21年9月15日をもって当事業を取り止め、株式会社ジェーシービーに承継いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては売上高1億6千6百万円（前年同四半期比12.7%減）、4千万円の営業損失（前年同四半期は1千7百万円の営業損失）となりました。

（その他事業）

その他事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高2億円（前年同四半期比65.5%減）、1千1百万円の営業損失（前年同四半期は5千1百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上高の減少などによる現金及び預金や売上債権の減少、日本フィナンシャルサービス株式会社の事業承継による営業貸付金の減少などにより、前期末比57億4千万円減の534億6千1百万円となりました。負債は、借入金が前期末比4億2千万円減少したことに加え、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末比47億3百万円減の224億6千万円となりました。純資産は、7億5千7百万円の四半期純損失などによる利益剰余金の減少などにより、前期末比10億3千7百万円減の310億円となり、自己資本比率58.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、雇用・所得環境の悪化など、先行きの不透明感などによる消費者の生活防衛意識の高まりから消費が後退したことにより、紳士服販売事業の既存店売上高は予想を若干下回って推移いたしました。また、利益面に関しましても、計画を若干下回って推移しておりますが、現時点におきまして平成21年5月15日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループにおいては、事業の性質上、下半期（10月～3月）の売上高、利益が上半期（4月～9月）に比べて大きいという季節的な要因があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,899,905	5,921,993
受取手形及び売掛金	52,127	120,182
営業貸付金	—	524,220
商品	12,139,119	11,779,182
貯蔵品	85,963	100,121
その他	2,878,881	5,655,596
貸倒引当金	△948	△1,292
流動資産合計	18,055,048	24,100,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,748,146	8,220,229
土地	12,839,553	12,839,553
その他（純額）	878,443	903,257
有形固定資産合計	21,466,144	21,963,041
無形固定資産		
のれん	203,107	230,129
その他	494,933	386,402
無形固定資産合計	698,040	616,532
投資その他の資産		
差入保証金	7,002,366	6,869,990
その他	6,279,798	5,685,439
貸倒引当金	△40,039	△33,253
投資その他の資産合計	13,242,126	12,522,176
固定資産合計	35,406,311	35,101,751
資産合計	53,461,359	59,201,755
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,794,843	11,233,277
短期借入金	1,554,000	736,000
1年内返済予定の長期借入金	1,467,128	1,991,496
未払法人税等	111,336	14,538
ポイント引当金	700,408	728,783
賞与引当金	73,492	218,200
店舗閉鎖損失引当金	—	96,842
事業整理損失引当金	201,665	460,720
その他	2,302,722	3,483,905
流動負債合計	15,205,596	18,963,763
固定負債		
長期借入金	5,166,378	5,880,127
退職給付引当金	1,402,594	1,344,703
その他	686,141	975,301
固定負債合計	7,255,113	8,200,131
負債合計	22,460,710	27,163,894

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,864,978	3,864,978
利益剰余金	23,472,513	24,481,652
自己株式	△287,627	△287,627
株主資本合計	31,041,232	32,050,371
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△38,428	△14,882
繰延ヘッジ損益	△2,154	2,371
評価・換算差額等合計	△40,582	△12,511
純資産合計	31,000,649	32,037,860
負債純資産合計	53,461,359	59,201,755

(2) 四半期連結損益計算書
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	23,606,590	21,857,786
売上原価	10,869,472	10,176,551
売上総利益	12,737,117	11,681,234
販売費及び一般管理費	14,203,470	12,814,455
営業損失(△)	△1,466,353	△1,133,221
営業外収益		
受取利息	14,313	18,499
受取配当金	2,919	2,674
受取地代家賃	112,142	136,827
その他	33,835	40,215
営業外収益合計	163,211	198,216
営業外費用		
支払利息	57,947	70,865
賃貸費用	43,418	48,022
その他	9,845	9,483
営業外費用合計	111,211	128,370
経常損失(△)	△1,414,353	△1,063,375
特別利益		
投資有価証券売却益	—	62
貸倒引当金戻入額	6,350	664
賞与引当金戻入額	116,758	99,396
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	8,966
特別利益合計	123,108	109,090
特別損失		
固定資産除売却損	138,521	99,037
減損損失	1,406,685	36,214
事業譲渡損	37,142	—
その他	2,619	25,162
特別損失合計	1,584,969	160,414
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,876,214	△1,114,698
法人税、住民税及び事業税	76,926	85,274
法人税等調整額	△898,843	△442,951
法人税等合計	△821,917	△357,676
四半期純損失(△)	△2,054,296	△757,022

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,876,214	△1,114,698
減価償却費	905,199	759,522
減損損失	1,406,685	36,214
のれん償却額	10,161	27,022
ポイント引当金の増減額(△は減少)	28,646	△28,374
賞与引当金の増減額(△は減少)	△64,216	△144,708
退職給付引当金の増減額(△は減少)	36,250	57,891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,350	6,442
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△96,842
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△259,054
受取利息及び受取配当金	△17,232	△21,173
支払利息	57,947	70,865
長期貸付金の家賃相殺額	50,700	50,203
投資有価証券評価損益(△は益)	2,619	1,529
有形固定資産除売却損益(△は益)	52,297	8,397
事業譲渡損益(△は益)	37,142	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,755,979	1,944,713
営業貸付金の増減額(△は増加)	7,982	524,220
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108,551	△345,779
仕入債務の増減額(△は減少)	△789,289	△2,415,078
経費支払手形・未払金の増減額(△は減少)	△2,008,540	△1,028,357
その他	△170,101	△273,713
小計	△1,688,884	△2,240,758
利息及び配当金の受取額	6,355	3,590
利息の支払額	△58,145	△69,983
法人税等の支払額	△564,176	△41,104
法人税等の還付額	—	551,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,304,851	△1,797,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	53,000
投資有価証券の取得による支出	△15,935	—
投資有価証券の売却による収入	9,014	1,119
有形固定資産の取得による支出	△451,144	△421,589
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△163,577	—
事業譲渡による収入	109,314	—
長期貸付けによる支出	△64,773	—
長期貸付金の回収による収入	13,080	2,997
差入保証金の差入による支出	△417,478	△266,551
差入保証金の回収による収入	231,490	210,690
その他	△121,466	△50,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△871,475	△471,007

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,560,000	818,000
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,098,306	△1,230,082
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△240	△37,545
自己株式の取得による支出	△109	—
配当金の支払額	△251,508	△251,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,209,835	△700,891
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,966,491	△2,969,088
現金及び現金同等物の期首残高	5,312,159	5,853,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,345,667	2,884,405

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	紳士服販売 事業 (千円)	カード事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,834,404	190,817	581,368	23,606,590	—	23,606,590
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	124,075	180,760	304,835	△304,835	—
計	22,834,404	314,892	762,128	23,911,425	△304,835	23,606,590
営業損失(△)	△1,249,643	△17,757	△51,889	△1,319,289	△147,063	△1,466,353

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	紳士服販売 事業 (千円)	カード事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,490,668	166,647	200,470	21,857,786	—	21,857,786
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	30,000	212,496	242,496	△242,496	—
計	21,490,668	196,647	412,966	22,100,282	△242,496	21,857,786
営業損失(△)	△938,884	△40,503	△11,891	△991,280	△141,940	△1,133,221

(注) 1. 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

紳士服販売事業…スーツ、ジャケット、スラックス、カジュアル等の衣料品販売

カード事業…クレジットカード業

その他事業…100円ショップ事業、広告代理業等

3. 前第2四半期連結累計期間におけるその他事業には、インターネットカフェの運営を含めておりましたが、平成20年6月末をもって事業譲渡したため、当第2四半期連結累計期間にはインターネットカフェの運営は含まれておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。